

通信総合研究所 飯田理事長
カナダ モントリオールにて 20th AIAA ICSSC
Aerospace Communications Award を受賞！！



受賞式

20th AIAA ICSSC が5月10日～15日カナダのモントリオールにて開催された。その会場にて日本の独立行政法人 通信総合研究所 飯田理事長は米国 George Washington University の Neil Helm 教授と共に選ばれて荣誉ある “Aerospace Communications Award” を受賞されました。心より御祝い申し上げます。

受賞の理由はアジア太平洋地域における衛星通信技術の開発とその発展にリーダー的役割を果たし、その普及に大いなる貢献を果たした功績に対して授与された。

この賞は衛星通信技術の開発と発展に世界的規模での貢献をした個人やグループに授与される賞である。1968年第1回として当時 Hughes Aircraft Company の Dr. Williams, Dr. Rozen が静止通信衛星シンコムの開発功績によって始めて受賞されました、その後1974年には赤道上36,000km上空の軌道に120度間隔で3基の人工衛星を打ち上げることで全地球的規模の静止通信衛星システムが構築出来ることを示した空想作家の Authur Clark が受賞するなど今までに1972年までは毎年、1974年からは2年に1回合計19回の受賞が行われている権威ある賞である。Authur Clark の提案が Dr. Rozen のシンコム通信衛星の開発のきっかけになったことは有名な逸話である。1998年 Iridium Team が受賞されたのはシステムとしては実用には至らなかったが現在米国海軍で世界的通信網に使用されておりその技術の素晴らしさに共鳴する。日本人としては1992年 NEC の関本忠弘氏がデジタル衛星通信技術の開発の先駆的役割とスピードシステムの全世界的展開への貢献で受賞されており、それ以来飯田理事長が2人目である。心からお祝い申し上げます。



Award Luncheon の会場にて



受賞者を囲んで TC-Member



受賞を喜ばれる飯田ご夫妻